

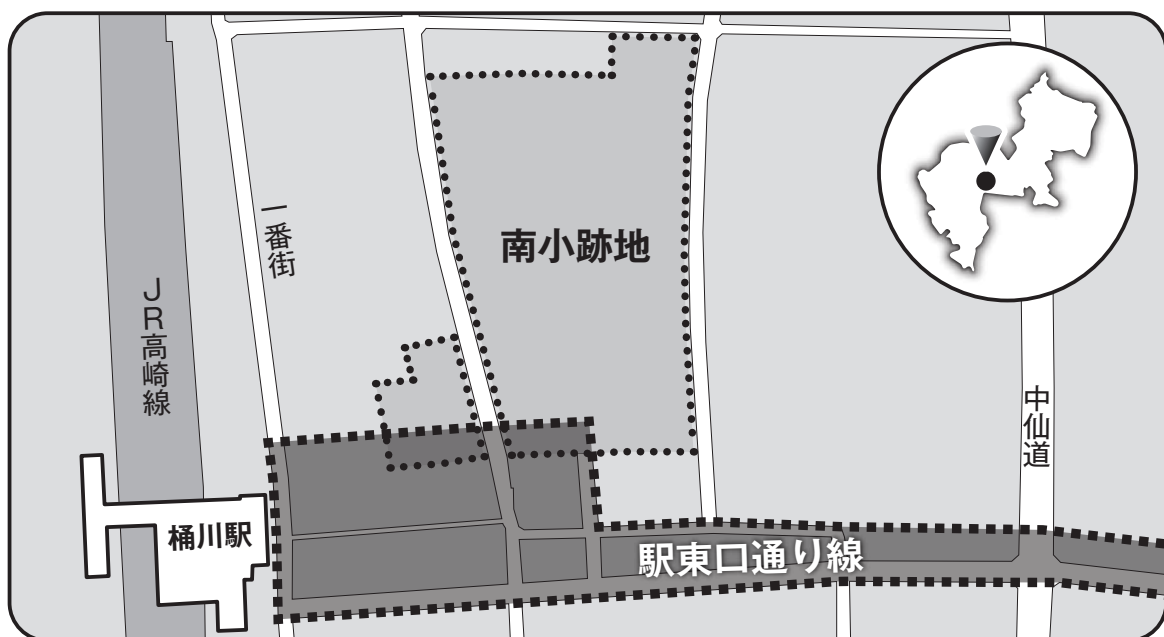
1 駅東口整備の推進を！

40年来の課題であった駅東口整備が、今大きく進展しようとしています。

昨年桶川市が都市計画の変更を決定し、駅前広場（約5,600㎡）と中仙道までの通り（県道）を幅員20mにて市による直接買収方式にて進める手続きを現在行っております。

昨年5月に「桶川駅東口周辺地区まちづくり懇話会」が設置され、地区全体のまちづくり像や、南小跡地の活用方策など中心市街地のもつ潜在力を活かすための様々な意見交換や検討がなされています。順調に手続きが進めば3月中に県の都市計画決定がなされ、来年度から桶川市において事業化される運びとなります。今まさに、新しい桶川のまちづくりを大きく前進させる時です。

例えばですが、駅前通りは、歩行者や自転車車が安全に通行できるように歩車道の分離と、バリアフリーによって高齢者や障害者の方々も安心して歩ける通りへと整備し、駅前広場については個人の送迎はもとより、



路線バスや企業の送迎バスなども余裕をもって入れる空間の確保、駅についてはエレベーターを設置して車いすの方やベビーカーで赤ちゃんを連れた方々にも配慮した優しい駅へと整備することなどが考えられます。また、南小跡地の活用については現

在様々な意見が出されておりますので、今後はそうした意見を集約し、人にやさしい元気で活力あるまちづくりの夢がひろがります。

その早期実現の為に、小野克典は全力で取り組みます。

2 平成26年度 高崎線 東京駅 乗り入れ (予定)

さらに広がる桶川活性化への道

当初平成25年度開通予定であった高崎線の東京駅乗り入れは、平成23年の東日本大震災の影響等により1年遅れて、平成26年度の開通予定となります。

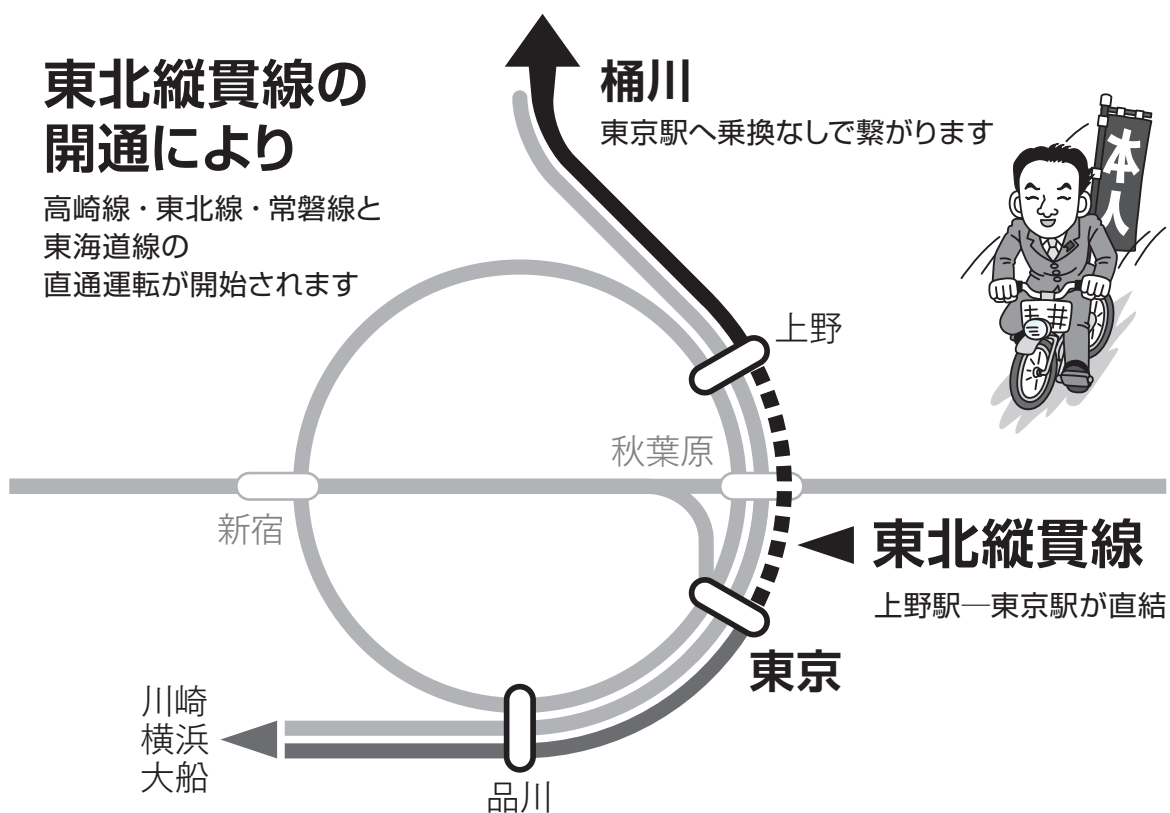
平成26年度には、圏央道 桶川北本IC～白岡菖蒲区間の開通も予定されています。また、上尾道路の上尾から桶川北本ICまでの未開通区間も、圏央道の開通に合わせて、現在工事が行われています。

まさに桶川を取り巻く交通網は充実し、その地の利を生かした駅周辺の整備・まちづくりをスピード感を持って進めていかなければなりません。

小野克典はこのタイミングに合わせ、今後、始発・終電の時刻延長などもJR東日本に要望していきます。

東北縦貫線の開通により

高崎線・東北線・常磐線と東海道線の直通運転が開始されます



桶川の活力を引き出す交通網

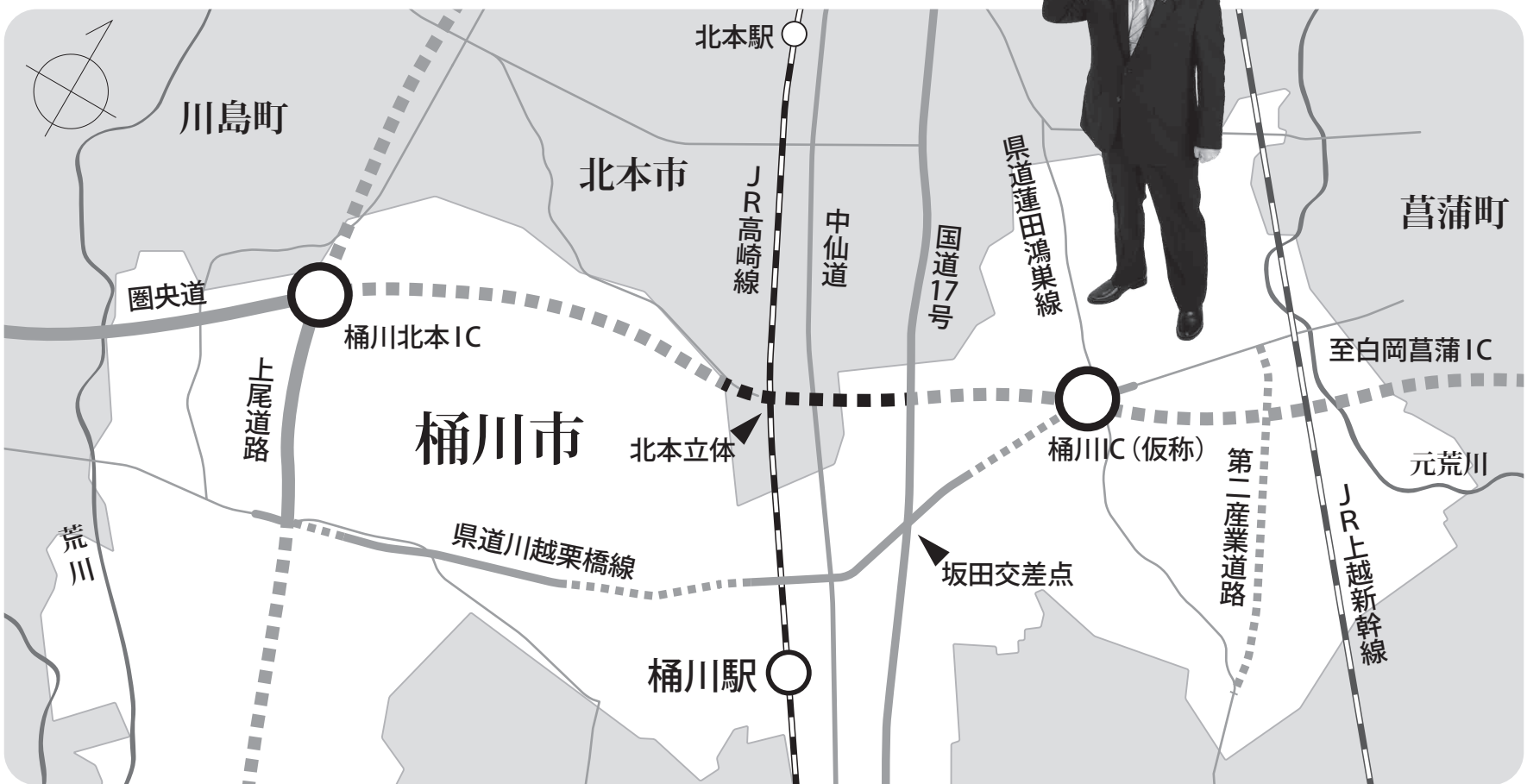
国は平成26年度を目標に、圏央道を西は東名高速まで、東は成田空港まで開通させる予定です。そうした中、桶川市には、圏央道のICが2カ所設置されます（西側：川田谷／東側：加納）。また市のほぼ中心に桶川駅があります。駅周辺の整備と、IC周辺の企業誘致や道の駅の整備などを、一体として進めることが、まちの活性化へ向けた重要な要素のひとつです。

また、駅周辺の整備については、東口の整備に合わせ、バリアフリーによる西口との連携を図ることにより、まちの中心としての機能を向上させます。

魅力ある桶川を目指して、小野克典は全力で取り組みます。



**選択と集中！
将来への投資！！**
市民とともに歩み
発展するまちづくり



国・県・地域の連携を図り、進めるべきことをスピーディーに進める



国土交通省への要望活動
梶山弘志国土交通副大臣と



上田清司埼玉県知事と、桶川市の将来像について語る



圏央道に関する市の要望を国へ説明



桶川市駅東口の進捗状況について市の担当者と協議

おのかつ新聞 平成25年3月発行



（ホームページ） <http://ono-katsu.jp> 後援会レポート

発行：小野かつのり後援会（会長：岩崎 彰）
桶川市坂田67番地 ☎048-729-1666

◆小野克典のプロフィール

昭和43年 桶川に生まれる
桶川ひがし幼稚園卒、桶川市立加納小学校・加納中学校卒、
東海大学附属浦安高等学校卒、東海大学工学部建築学科卒
平成11年 桶川市議会議員選挙に初当選（31歳）、平成15年 2期目当選（35歳）
平成19年 埼玉県議会議員選挙に初当選（38歳）、平成23年 2期目当選（42歳）
現在 桶川市ボウリング協会 会長、桶川市インディアカ連盟 会長、桶川市野球連盟 会長、江川清流会 顧問、桶川総合型地域スポーツクラブこのゆびとまれ 顧問、NPO法人旧陸軍桶川飛行学校を語り継ぐ会 理事
◆趣味：スポーツ（テニス、ボウリング、ソフトボール、インディアカ、グラウンドゴルフ etc.）、読書、映画鑑賞など
◆家族：妻（範子）、1男1女の4人家族
◆尊敬する人：上杉鷹山、ジョン・F・ケネディ、マーガレット・サッチャー
◆モットー：常に感謝の気持ちと謙虚な気持ちで

（討議資料）